

「キリストにある満ち満ちた恵み」 コロサイ 2：11－15

I 「キリストにあって、あなたがたは人の手によらない割礼を受けました。肉のからだを脱ぎ捨て、キリストの割礼を受けたのです」：11。

1. コロサイの異端は、異邦人キリスト者に救いの条件として割礼を要求していた。
2. 旧約時代の割礼の儀式は、「わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる」（創17：7、出19：5、6）という契約関係に入れられるしるし、神、ヤハウェとの結合を表すしるしだった。旧約時代でも本来、割礼は、単なる外形上のことではなく、心の内面のことでもあった。「主は、あなたの心と、あなたの子孫の心を包む皮を切り捨て、あなたが心を尽くし、精神を尽くし、あなたの神、主を愛し、それであなたが生きるようにされる」（申命記30：6）。「主のための割礼を受け、心の包皮を取り除け」（エレ4：4）。割礼のこの内面性の教えは、キリスト（の十字架・復活・昇天・聖霊の注ぎと内住）において成就した。主の割礼は、人の手によらない霊的行為であり、割礼が象徴していた契約の祝福を信仰者に霊的にもたらす。主にあつて私達は、主に霊的につぎ合わされ（ローマ6：5）、新しい契約の民（神のイスラエル。ガラテヤ6：16）、教会の一員として迎え入れられる。「外見上のからだの割礼が割礼なのではありません。かえって人目に隠れたユダヤ人がユダヤ人であり、文字ではなく、御霊による、心の割礼こそ割礼です」（ローマ2：28、29）。
3. 「肉のからだ（古い人）を脱ぎ捨て、キリストの割礼（罪の心の包皮を取り除く）を受けたのです」：11。

II 「あなたがたは、バプテスマによってキリストとともに葬られ、また、キリストを死者の中からよみがえらせた神の力を信じる信仰によって、キリストとともによみがえらされたのです」：12。この御言葉の「バプテスマ」の意味を、良く説明しているのは、次の御言葉→「私たちはみな、ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、一つのからだ（キリストのからだなる教会）となるように、一つの御霊（聖霊なる神）によってバプテスマを受け、そしてすべての者が一つの御霊を飲む者とされたからです」（I コリント12：13）。キリストのからだとなるように聖霊なる神が、私達にバプテスマを授けて下さった。それは聖霊によるバプテスマ。

聖霊なる神こそ、私達を、キリストのからだの各器官とするバプテスマを私達に授け、私達をキリストに霊的に結び合わせて下さるお方。これは、聖霊様の不思議で神秘的な御業。聖霊様こそ、私達を新しく生まれさせ、主のことを教え、主を信じる信仰を与え、主と霊的な結合を与えられる。それ故に、私達は、霊的に主と共に死に、主と共に葬られ、主と共によみがえらされた者である。聖霊なる神による新生、主との結合、新しいいのちをいただいている。何という恵み！

III 「あなたがたは罪によって、また肉の割礼がなくて死んだ者であったのに、神は、そのようなあなたがたを、キリストとともに生かしてくださいました」：13。 1. 私達は、自分の罪（神を信じない高ぶり、不品行、汚れ、好色、盗み、殺人、憎しみ、ねたみ、恨み、分派、悪口、お酒や麻薬で神から与えられた体を滅ぼして行く）の故に霊的に死んだ者、いのちを与える神から離れ、神に近づけず、神と交わることができない者だった。 2. しかし、憐み深い愛の神は、罪人のかしらである私

達を愛し、福音を聞く機会を与え、信じる信仰を与え、靈的に主と結び合せ、主と共に靈的によみがえらせ生かして下さったのです。今も、そして永遠に満ち満ちたキリストと共に生きる事ができる。ハレルヤ！

IV 「それは、私たちのすべての罪を赦し」： 13。私たちの過去・現在・未来のすべての罪を残らず背負って主が身代わりに十字架で死に、私達のすべての罪の刑罰を完全に償い尽くして下さい。だから、自分の罪をごまかさず、隠さず、正直に神に告白するなら、主の十字架の恵みにより赦される。「もし私たちが、自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます」(Iヨハネ1：9)。

V 「いろいろな定めのために私たちに不利な、いや、私たちを責め立てている債務証書を無効にされたからです。神はこの証書を取りのけ、十字架に釘づけにされました」： 14。神の正しい定め、律法は、罪多い私たちの一つ一つに罪に対して、正しく責めた立てる債務証書。私達は、自分の行い、努力で自分の罪の莫大な負債を返済する事は、全く無理で絶望だった。死ぬまで、いや永遠に攻め立て続けられる立場だった。しかし、神は、大切なひとり子キリストに、私達のすべての罪を負わせ、十字架につける事により、私達を責め立てている「この債務証書」を無効にされた。神はこの証書を、十字架に釘づけにされた。無効にされたとは、私達の罪を大目に見て見逃されたという意味ではなく、キリストが十字架で、私達のすべての罪を完全に償い尽くされ、私達の罪の負債が完済したので、私達を責め立てる債務証書が、無効となった。感謝します。主を信じた後も、悪魔(「告発者」黙12：10)と私達の内にある古い心が、罪を告白し神が赦された後にも「お前の罪は赦されない」と責め続ける。それに惑わされず、

Iヨハネ1：9とコロサイ2：13, 14の御言葉を堅く信じて神の赦しを受け取りましょう。

VI 「神は、キリストにおいて、すべての支配と権威の武装を解除してさらしものとし、彼らを捕虜として凱旋の行列に加えられました」： 15。神は、主の十字架において、債務証書を無効にするとともに、私達を縛っていた「すべての支配と権威(悪の力、諸靈力)の武装を解除し、彼らに対する勝利を宣言された。当時の異端は、諸靈力は、神と人の仲介者であると間違った教えをしていた。真の神であり、また人となられたキリストのみが、神と人の真の、唯一の仲介者であり、キリストは私達の罪の為の十字架と復活ですべてを成し遂げ勝利され、今もすべて(靈力・国々・私達)の支配と権威のかしらである。主を賛美します。